



神奈川ネットワーク運動・座間市民ネット(座間市議)

神奈川県座間市 加藤 陽子 さん

Q 差し支えなければ、年齢と出身地を教えてください。

A 53歳。東京都八王子市出身です。

Q ごみ問題に関心をもつようになったのは何故ですか？

A 1992年に座間市に転居し、子育てをしながら神奈川ネットワーク運動・座間市民ネットの廃棄物部会の活動に参加しました。

資源物・可燃物の学習・現地見学・他自治体との比較調査等を行っていきながら提案活動を行っていき中で関心が高まりました。

座間市の可燃ごみは海老名市・綾瀬市と構成する一部事務組合による焼却炉で処理されています。

2002年の一般廃棄物処理基本計画では2000年実績の50%目標を策定したこともあり(それ以降の計画では30%削減と後退しています)、その当時の計画には生ごみ資源化施設も検討に入っていました。行政も取り組みを積極的にすすめる方向があり、提案する活動の面白さもありました。

Q ごみかんに入会して下さったきっかけは？

A 入会時期は忘れてしまいましたが、興味深い講座あるいは学習会の企画を見つけて参加してからです。生ごみリサイクル交流

会も有意義でした。

機関紙「ごみっと・SUN」等でも東京三多摩の先進的な情報が得られますし、また専門家や行政職員の話が聞ける企画に参加でき、大変勉強になっています。

Q ごみ問題に関すること以外に、趣味や生きがいは何ですか？

A 声楽です。学生時代に合唱団に所属し、卒業後も八王子市・大和市・子どもの幼稚園など、地域のコーラスグループに参加してハーモニーを楽しんできました。

現在は作品をつくっていく練習は難しく、月1回程度の声楽のレッスンに通っています。

Q 特筆すべき近況があれば、教えてください。

A 可燃ごみを減らすため、2009年にメンバーとダンボールコンポストを広めるグループを立ち上げ、市との協働事業もしながら活動してきました。



昨年、残念ながら会を閉じましたが、年明けから、我が家ではキエーロを始めています。

座間市では、今年度からキエーロを生ごみ処理機の購入助成対象にしましたが、市内での販売店の設定をしないため利用推進には条件整備が不十分でした。

粗大ごみで出された家具の修理を受託しているシルバー人材センターでの製造販売を提案したところ、実現しました。

また、一部事務組合高座清掃施設組合の新焼却炉が今年秋完成予定で建設中です。150t炉・200t炉の2炉から122.5t炉の2炉になります。年間処理量を約66,000tと計画している炉の大きさですが、昨年度の搬入量は年間約74,000tです。これには9日分のピットがあるから大丈夫との考えです。

災害ごみの受け入れも加味しての計画処理量の設定なのに、座間市ではさらなる減量の必要性の認識は薄い状況です。資源物である容器包装プラスチックと紙の混入の削減と生ごみ処理機の使用拡大にもっと力を入れる必要があります。

Q ごみかんに期待したいこと、提案したいことがあれば、お聞かせください。

A 減量・資源化等の自治体の比較調査は興味深く貴重なデータなので、ぜひ継続をお願いしたいです。

ごみ・資源に関する高齢者施策の議論も行ってほしいですね。